



平成18年6月定例会

働く人 — 『笑顔の新人さん』

特集 今こそ知恵をしばろう地域再生のとき P2~3

一般質問 集落営農、自治体公契約条例、ダリアの一戸一株運動 P4~5

町民の声 “働きかけ”で異文化理解を P9

わがまちをよそから見れば 「ねっちょさ」こそ川西の美質 P10

再生のとき!

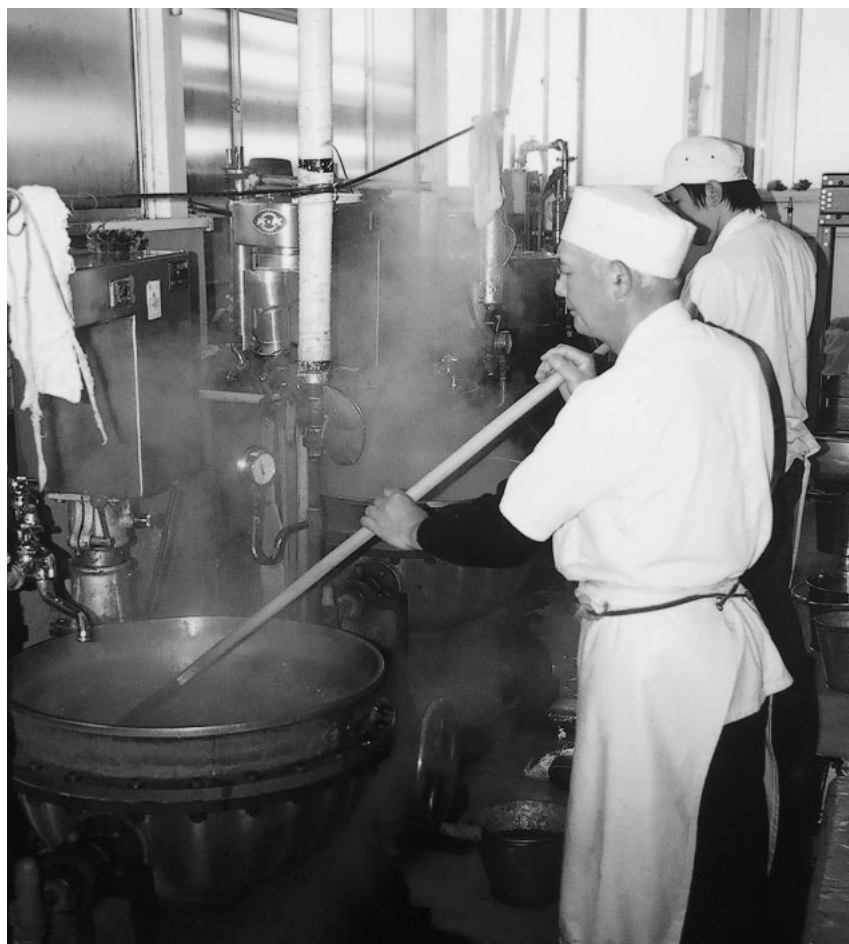
特集

川西・未来へ

めざせ川西ブランドの創出

ストーリー性とテーマ性がキーポイント

「産業振興」といっても財政力の乏しい自治体であって、やれることはそんなに多くはない。しかし、住民所得の底上げや、若い就業者の定着は、乏しい故にこそ課題なのだ。今号では、その可能性について考える。



伝統の職人技はマーケティングとしても強い

前号に引き続きの話題ではないが、平成二年から同十二年までの一〇年間に合計特殊出生率の上があった自治体が約七〇あるという。これらの内、自治体の積極的施策が結びついたと見られる事例を調査した結果、若年既婚者層の転入と定住化という共通項がみられた。

その背景には、中堅企業の工場誘致など就業機会の創出があったとされている。産業振興に対する取り組みは、究極の少子化対策に他ならない。

地方の景気回復は

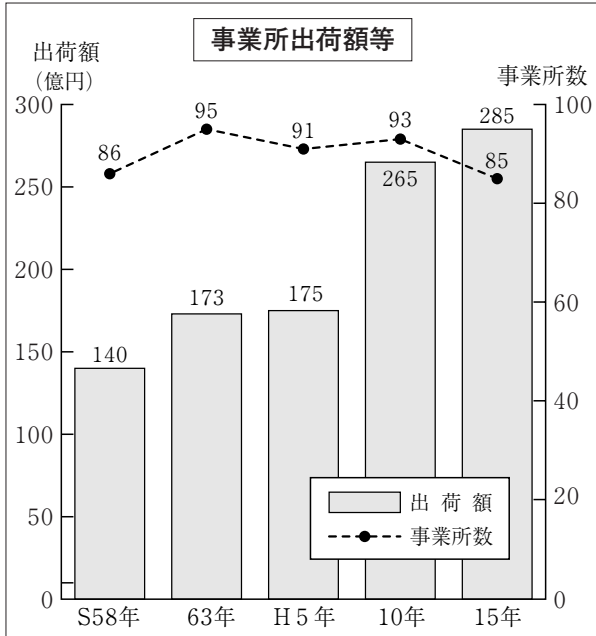
まだまだ

最も簡単に入手できる統計資料として、町の政

策総務課が発行している二〇〇六年版『川西町の概要』がある。町のホームページにもグラフ化されて掲載されているので興味のある方は一度アクセスを試りたい。もちろん冊子としても十分な数が用意されている。

さて、これによると、川西町の農業産出額は七億七千万円、商工業の商品販売額及び製造品出荷額は次のページにグラフ化して掲示した通り、それぞれ一四〇億円と二八億五千万円である。これを少ないと思うか、思いのほか多いと見るかは自由だが、多くの方は、先頃世間を騒がせた日氏やらMファンドの運用資金や利得の数字と比較して呆然とながめたに違いない。実業や実生活と全く隔絶された世界をほんの少しのぞき見して寒々とされ

地域を伸ばす知恵を今更には



たのではなからうか。しかし、町の統計の方は実質的勤労の成果だ。残念ながら、地方税収入も頭打ち、「自立の町づくり」もそれを裏打ちするにふさわしい実態であるとは言えない。

ゆるやかに景気は回復しつつあると新聞は伝え、バブル期を超える収益を計上した金融機関の決算が公表されたりはするものの、川西町まで来るパンプになにか詰まっています。まっていますのでは？と思えてくる。

しかし、ここで立ち止まって思案に暮れていて

もはじまらない。今こそ知恵をしぼって地域再生の道を探るときだ。

起業こそ町おこし

若年就労者の雇用拡大には「起業」だが、その条件は五つだそうである。

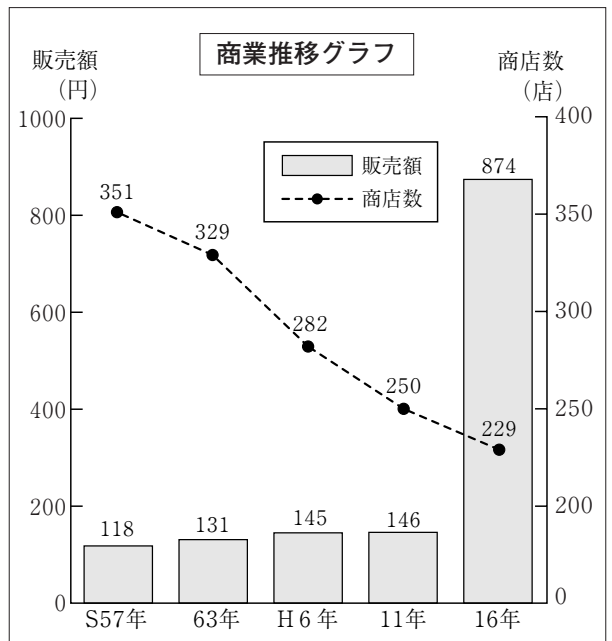
- (1) アイデア (マーケティングを含む)
- (2) 人材
- (3) 番目が立地
- (4) 資源 (原材料)
- (5) 資本とつづく。

(1)のアイデアについて註釈をいくつか紹介しよう。今日では商品回転が早く、余りとつびょうしも無いものはパツと売れるがすぐ市場から排除

される。流行は長くても三ヶ月。いかに便利でも極端に性能の高いものもダメ。結局消費者は身の丈に合ったものしか選択しない。人々の目線の一センチ上の商品で、「なるほど考えられている」と得心できる物が安心感を与えるという。

マーケティングの話も興味深い。一通り消費材のゆきわたった家庭の買い替えの時の選択動機はテーマ性とストーリー性なのだそう。まさに「まちづくり」そのものではないか。

テーマ性となれば川西



町もその材料にこと欠かない。ダリア、田舎町、田園風景と丘陵、古墳群、遅筆堂文庫…。その二つ、あるいはその他のイメージを重ねてストーリー化する。そんなにもむずかしいことはない。○右衛門という缶入り緑茶が清涼飲料の業界地図を塗り替えてたり、「おかあさーん」と呼ぶだけの超ロングセラーCMの味噌が地域の代名詞になったりする時代だ。一つのアイデアで全国のコビニの棚を「はえぬきのおにぎり」が席巻するなどということが起きないとも限らない。

新たな発想で

川西町商工会に、日曜日に開かれる「創業開業相談」がある。担当者の話によると、まだ事業所としての体力のあるうちに業態転換を提案するという事例が多いそう。新たな起業を指向する例ではビジネスプランのお手伝いをし、各種政策資金や開業時の金融機関への紹介もするとのことである。川西の風土に根づき、世評を「なるほど」とうならせるような起業家の出現が待望される。

予め川西町の諸条件を提示して起業プランを全国公募するというのも面白いかもしれない。第一席となった者には、実際の開業にあたって地方税免除等の特典など各種奨励措置を講ずるといふものだ。

一方、川西には伝統的な職人技を「ウリ」とする業種も少なくない。これらを一体とした「川西ブランド」の創出が私たちの最初の目標となる。商工農統一ブランドであるのが理想。ここが知恵のしほりどき!

集落営農を主力とする方針に転換を

町長 合意の形成が変革のエネルギーとなる



集落営農は地域活力の維持が目的



黒澤 巖 議員

黒澤 一九年からスタートする経営所得安定対策の二つの交付金についての法律案が、今国会で審議され可決される見通しだが、これによって土地利用型農業を基幹とする川西町はどう変化すると思うか。
町長 第四次総合計画で農業の振興をまちづくり

の大きな柱と位置づけたが、地域農業を確立していく取り組みは、地域の自治機能を強化し、地域の経済の活発化をはかり、ひいては地域の社会力総体を高める重要な取り組みであると考え。そのためにも生産の拡大と所得の向上は緊急の課題だ。
黒澤 経営所得安定対策の交付要件をクリアすべく、認定農家の拡大や、集落組織づくりが急ピッチですすめられているが、今のところ、どのぐらいの農家が支援対象となれそうか。
産業振興課長 県段階の推計では面積換算で約半分、農地・水・環境保全向上対策で六割ぐらいとされている。
黒澤 ということは、戸数でいえば半数以上の農家は、大きく水準が後退すると予測されている産地づくり交付金だけということになる。あからさまな選別政策というべきだが、これによって不平等感が広まり、地域社会の活力も低下するといった事態とならないか。
町長 そのためにも地域

の将来に向けた徹底した話し合いと合意の形成が必要だ。それが未だ経験のない新たな局面の中で自らを変革していくエネルギーの源泉となる。
黒澤 選別ではなく、互いに足りない分を補完しあつて協働型地域営農にすすむというのが、千年来の農村の伝統だ。集落営農を主力とする方針に

転換し、組織に対する支援を拡充すべきだ。
町長 協働型営農は個別経営の違いを相互に認め合うことが大切で、その形態も地域の状況によって異なつてよいと思いますが、リーダー育成や一元経理に対する支援は、各種交付金事業を活用して実施する予定である。

一世帯一株のダリア植栽をすすめよ 町長 まいごに同感である



島貫徳右工門 議員

島貫 ダリヤ普及事業について、ダリヤの里川西の名声を更に充実するためにも一戸ダリヤ一株の植栽を進めては、
町長 町民一人ひとりがダリヤを植栽し元氣よくPRできる魅力あるまちづくりの推進は同感であ

る。第四総合計画の目標である『ひとががやき、ダリヤと文化の咲き誇るまち』を実現するため、皆さんとともにダリヤを普及促進する。進めるに当たっては花づくり銀行などを創設し実現したい。
島貫 愛着と感性を高め運動として定着をはかるために、褒賞制度を設定しては。
町長 充分、検討します。

集中改革プランの

実施に十分な説明を

島貫 行政評価システム



みんなで考えよう負担減

全国に先駆け、自治体公契約条例の制定を！
町長 総合評価を含めた入札契約制度の改善を検討する



高梨 勇吉 議員

高梨 町の公共事業等の発注効果が、より多くの町民の皆さんに還元されるように、地元の従業員

の割合や環境、福祉、男女平等、公正労働などを配慮した総合評価方式に基づく町の責務、事業者の責務を含めた「公契約」の条例を制定してはどうか。また、全国に先駆け

て実践することによるモデルの評価は、そのイメージと視察者の増加などによる交流人口の拡大を促し、町に対して計り知れない効果がでるものと思うがどうか。

町長 今後、「川西町入札制度改革検討委員会」において、総合入札制度を含めての契約制度の改善を検討していく。

中学校の制服などの保護者負担の軽減について

高梨 国民（町民）生活の現状は、小泉改革の影響を受けて年々窮乏化が進んでいる。川西町においても例外ではなく、なかでも保護者の失業などによる要保護の児童生徒が増加する一方、中学校入学時の制服などの負担感

は依然として強いものがある。教育委員会におけるこれまでの取り組みと現状についてお聞きする。併せて、一般的な義務教育時における保護者負担についてどう考えるか。

教育長 制服などの保護者負担については、学校との話し合いを持ちながら、創意工夫により負担増を招かないようにと指導をしてきた。お下がりや卒業生のものを利用するなどの議論もなされたが、生徒の好みや数量が確保されるかなどの課題もあった。このような節約方策については、保護者が中心となり、システム化に向けた取り組みが必要であると思われるので、引き続き学校をはじめ関係者との連携を強め保護者負担の軽減に向けた協議を重ねて行く。

町長 第四総合計画の将来像を達成するために機会を促し説明を行い理解を得たい。

まちづくり委員会はまちづくり条例に基づき、総合計画の見直しや行財政改革の進行管理にも参画・施策の提言及び評価を行うが、又地域要望に応じた懇談や移動町長室等を開催し町民の声を町政に反映するようつとめたい。



マイダリアを町づくりの象徴に

小松駅管理の手法は

鳥貫 表玄関である羽前小松駅をどう見直すのか。

町長 これ迄の切符販売のみの業務を見直し観光・物産・イベント等の情報発信の拠点として活用する。また駅舎の荒廃や青少年の非行防止と、美女木・荻野地区の通学路としての跨線橋利用をふまえ有人施設とする。管理運営が可能な団体や町民・利用者との懇談等の機会を設け新たな運営体制を構築したい。

意見書

ストップ・ザ・高金利

多重債務問題の

最大原因は高金利

多重債務問題が原因の自己破産申立件数は、依然として高水準にある。さらにこの多重債務問題が、ホームレス、離婚等依然として深刻な社会問題となっている。

- 以上の社会問題を解決すべく「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」を次の四点に改正すること及び利息制限法の制限利率を上げないことを強く要請する。
- ① 出資法第5条の上限金利を、利息制限法第一条の制限金利まで引き下げること。
 - ② 利息制限法を引き上げないこと。
 - ③ 貸金業規制法四三条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること。
 - ④ 出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。
- (提出先) 衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣、県選出国會議員

全員賛成により可決

条例

◎ 川西町立図書館条例の一部を改正する条例。

◎ 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例。

◎ 川西町国民健康保険条例の一部を改正する条例。

◎ 川西町消防団条例の一部を改正する条例。

消防団組織の見直し等により、本条例を改正する。改正内容は、消防団員（昭和四〇年条例一八号）六七〇名を六三〇名に改める。

いずれも施行日は平成一八年六月二六日より。全員賛成により可決



日々の訓練が町民の安全を守る

議会広報モニターから一言(3)



今年の二回目の発行、第八十五号議会だよりを手にして平成十八年度予算のページをめくると文字と数字が大きく表示され、さらに歳出項目には誰にでも分かるように説明が添えられ、編集委員の読者への心づかいが感じられた。

しみが出て、今以上に女性の読者も増える事が期待できる。町民の声のコーナ―は親子の暖かな温もりを感じさせられる写真とメッセージで読者をホッとさせる良い一面になっている。また、川西町の未来に目を向けた特集は益々充実させてほしい企画です。第八十二、八十五号では水や環境、少子高齢化について取り上げられてい

身近な問題もつとくわしく

犬川 横山 のぶ子

が、いずれも日本の問題でもある。

そして、満開のダリヤのスナップ写真も掲載されてカラー印刷ながらもつと読者の心を和ませてくれただろう。

また、各ページの出しが四角のわくで囲みになっていて、ゆるやかな曲線やカットを取り入れると硬いイメージも少し和らぎ親

ていくか、身近な視点で示してほしいと思う。



町づくりの夢のせて!!

最年少助役の選任に同意

山崎孝志氏 (37才)



四月より空席となっている助役に、経済産業省中小企業庁長官官房参事官付、企画調整係長の山崎氏を選任する人事案に全会一致で同意した。就任は七月一日付。

プロフィール

神奈川県出身、父の仕事の関係で静岡で育つ。青山学院大文学部卒。平成四年、通商産業省(現経済産業省)に入省。酒に強い血統なので、回数を重ねれば飲みそう。まだ独身なので、本気で嫁さんを考えてみたいとのこと。



一般会計

部落公民館の整備に段階的対応

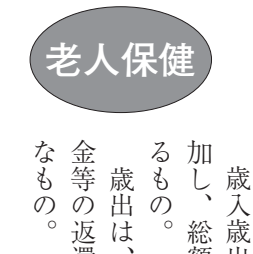
部落公民館整備に係わる補助金交付規定では、これまで、新築する場合補助対象額の二十%以内で、二〇万円、増改築、下水道及び集落排水設備の場合は、五〇万円を上限としていたが、今年度より集中改革プランの推進等を考慮して見直しされた。十八年度は、補助対象額の十五%以内で各々一五〇万円、三七万五千円が上限となる。又、十九年度は、十%以内で各々一〇〇万円、二五万円を上限とし、段階的に削減をはかり、申請の受付も一九年度限りで打ち切り、以後廃止される。

歳入歳出をそれぞれ七〇五二万二千円追加し、総額を七六億二九五二万二千円とするもの。

介護保険

歳入歳出それぞれ七万四千円を減額し、総額を一四億六四〇七万六千円とするもので、人事異動による給与費の減額によるもの。

全員賛成により可決



老人保健

歳入歳出それぞれ一二〇六万九千円を追加し、総額を二〇億四九七〇万九千円とするもの。

歳入は、事業確定に伴い医療費国庫負担金等の返還金。歳入は、前年度繰越金が主なもの。

老人訪問看護

歳入は、介護保険法の改正により新たに介護予防サービス項目を追加するために、システムを開発する委託料。

老人訪問看護

歳入歳出それぞれ三二万三千円を追加し、総額を一九二五万七千円とするもの。

歳入は、一般繰入金。歳入は、一般繰入金。歳入は、一般繰入金。

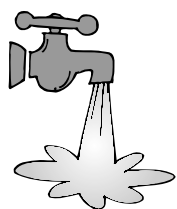
歳入は、一般繰入金。

下水道

歳入は、公債費三七一〇万円の増。歳入は、一般会計繰入金を減じ町債を増額するもの。

水道

職員給与費を六一〇万七千円減額し、総額を七二七六万一千円とするもの。職員の異動に伴うもの。



全員賛成により可決



表紙の写真

働く人

笑顔の新人さん

(南陽市)

五十嵐富士子さん

ヤマザワ(株)川西店で働く五十嵐さん。まだ入店して一週間足らずの新入りさんだ。レジを打つのも先輩の指導でおぼつかない。

家庭では小学一年生と保育所園児の二人の子供のお母さん。ご主人と四人家族。

(株)ヤマザワ川西店は従業員七〇人。人気のタイムサービスは毎日、午後四時から六時の間。おくれないように!

総務常任委員会

主役は乳幼児（幼児施設の再編）

平成一八年六月五日、幼児施設の再編に関する現状と課題について調査を行った。本町では、平成一七年度「川西町乳幼児施設再編及び保育サービス等のあり方」に関する検討（案）を策定し、一八年度教育委員会委員協議会で報告を行いその後、五月に第一回の懇談会を行っている。園児数、

地域的現状及び動向、延長保育等の保育サービスに対する分析を行い将来の幼児施設のあり方を検討する懇談会である。国では、少子化の進行や教育・保育ニーズの多様化に伴い、これまで対応できない部分での新たな選択肢として「認定こども園」制度（平成一八年十月施行）を確立し親の就

「遊び」を通じ「生きる力」の基礎を培うには、家庭・地域社会・幼保施設の三者による総合的な幼児教育の推進が重要である。

「遊び」を通じ「生きる力」の基礎を培うには、家庭・地域社会・幼保施設の三者による総合的な幼児教育の推進が重要である。

厚生常任委員会

介護保険制度の改定に伴う現地視察

平成一八年五月一二日、介護保険制度改正に伴う施設の現状と課題について、現地視察を行った。

介護保険制度の見直しに伴い、利用者の増加で新年度から基準額月一一二〇円の値上げを実施した。

かがやきの丘「居宅介護支援事業所」を訪問。老人保健施設と併設しているこの事業所のケアマネージャーや係から施設の現状の説明を受けた。

要介護認定者1から5までの九九人の入居者には元気な姿も見られ、仲良く生き生きとした日々が送られているようだ。現在、入所待ちが四〇数人いる。

平成一二年から始まった介護保険制度法は今年で六年目。制度改革に伴い、高騰する医療費の抑制や、予防重視と在宅介護が重点基本に上げられている。居宅介護支援事業が益々重要視されるなど、今後の課題である。

産業建設常任委員会

農業ビジネスの可能性を求めて

平成一八年五月三十一日、色彩選別機を利用した産地強化対策及び経営所得安定対策等の取組み状況の現地調査を行った。

川西中央カントリーエレベーターへの色彩選別機の増設は、平成一七年度産米にカメムシ等による異常ともいえる着色粒被害の発生により、国の強い農業づくり交付金、総事業費四三〇〇万円となる。玄米選別も毎時七・二トンの処理能力がある。

着色粒の除去は基より異物等の選別も行われる事により、安全且つ高品質で均質な産米の供給が可能となる。消費者が求める安全、安心な農産物の供給産地として産地間競争に勝ち得るものと期待できる。

平成一九年度から始まる「農地・水・環境保全向上対策」で全国六〇〇地区のモデル地区の一つとして本町の高山中里地域が指定された。高山ま

里地域に存する農地・農業用水等の資源や地域の環境の保全と資的向上活動に地域住民の持続的な参加を促し、様々な課題解決に取組み地域の目指すべき方向に大いに期待を寄せたい。

今後の日程

◎総務
まちづくりに関する先進地調査
地区公民館の運営状況調査

◎厚生
健康づくりによる医療費削減の先進地調査

◎産建
網木川ダムと笹野浄水場の現況調査



介護センター「薬師温泉」にて

町民の声

“働きかけ”で 異文化理解を

・ふなき ともこ

山形短期大学勤務

7人家族（両親、夫、子供3人）

子供：頌子（しょうこ）小学4年生

泰平（たいへい）小学2年生

遙子（はるこ）4歳



幼い頃から「ふれあい」経験が大切

船木 智子

川西町大字上小松

自分が楽しく生活できる町というのは、どういう所か。町という大きな規模で捉えると漠然としてしまうので、自分の身の周りで何かできないかと考えると案外いろいろと思いつかなくてくるものだ。基本的に三人集まれば何かできるというのが私の考えで、それぞれ好きなこと、得意なこと、興味のあることを軸として集まり外に発信する。それに魅力を感じた人達が増えて結集すれば楽しいことはどんどん広がって行くのではないかな。

「おいしかったね」
ではダメ

私の場合は国際交流と中国語。仕事が外国人留学生への支援事業なので、国際交流や異文化理解で思いつくのが、その国の料理を通して文化を学ぶという行事。残念なことに「おいしかったね」で終わってしまうことが

多く、理解まで行かないのが現状だ。私が思う異文化理解の基礎となるのは言語。外国人が日本語を習得するのと同時に、こちらも外国語を学習し歩み寄ることが異文化理解の一步であると思う。

小松小学校が体育館内の研修室を昼間一般開放し「ハートフルD.Oイングセンター」という地域の大人達と小学生達が一緒に学んだり活動したりできる場所を設けている。ここを利用して中間休みに中国語を子供達に教えるようかと連れ合いと話しているところだ。異文化理解は子供の頃からの小さな経験の積み重ねが大切であり、しかも身近にこのような恵まれた空間があるのを使わないのは勿体ない。

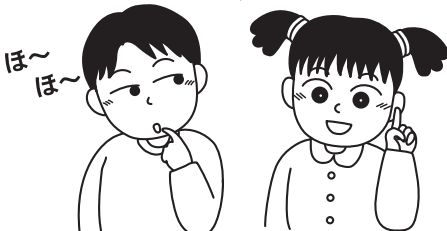
何もしなければ
何も無い

何もしなければ何も無い町であるが、実際に

動を起こしてみると、たくさん素敵な人や世界との出会いもあるし、楽しく参考になる話も聞くことができる。行動を起こすというと大変なことのように感じるかもしれないが、まずは何かの行事に気軽に参加してみるのも一つの方法だと思う。

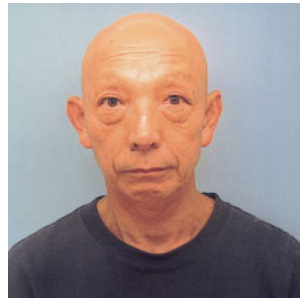
今の私の課題は、仲間づくりと小さな行動を起こし、生活する場所が楽しい所となるよう目の前の小さなことができることから始めたいと思う。誰のためでもない。私自身のために。

ニハハ
你好～



「ねっちょさ」こそ川西の美質 米づくりと町づくりに思う 米沢市・齋藤國廣さん

わがまちをよそから見れば…



<さいとう くにひろ>

昭和19年高島町生まれ
食糧事務所（現農政事務所）を退職後
畑仕事に精を出す日々。玄関には、賢
治にならって「下ノ畑二居マス」と張
り紙。自給自足をモットーにしている。

昭和三十九年、まだ頭髪もフサフサしていたころ、私は食糧事務所の検査官として役人生活をスタートした。最初の赴任地は酒田で、若くて気力も横溢しており、ずいぶん無茶な酒飲みもした。置賜に戻れたのは昭和四三年、川西町の知友たちとの交際もほとんどそれ以降のことである。

驚いたのは仕事についてである。自分の眼がどうかしたのではないかというくらい米が違って見えた。酒田管内で見た米粒は、置賜の米粒と比較すれば、お姫様の如き上品さだった。一方、目の前の検査皿の上に光る米は、野良の親父そのままの風貌で鼻があぐらをかいているわ、酒焼けで額がテカテカと赤らんでい

り量の時代であった。生産者米価も年々上昇し、農家の鼻息も荒かった。早場米奨励金の制度もあり仮置き場となった小学校の体育館の床が抜けたりといった話題もその頃である。

「川西人」の気質？

川西町の人たち（私が知っているのは農家や農協の人たちがほとんど）の気風というのがあるかもしれない。一見口ごもりおとなしそうに見えるが、一たび皆でなにかをはじめると一心不乱に取り組むという性格の人が多いのだろうか。国体があったとき、塩ホッケしか知らない婆さままでホッケーに夢中になって全国の人を応援した。この熱気は根性というもんだなと感心した覚えがあるが、米づくりにこの

気風が大いに作用したことはまちがいない。当時、品質では新潟・兵庫が突出していた時代だった。このツケが単価面で今も営農の足を引っばっていると言ってしまう過ぎだろうか、誰にとっても時代の先を見るときは難しいものだと思う。

無責任な隣人の期待だが

川西町は若い町長の下一丸となって「自立の町づくり」に頑張っていると聞く。川西人の気質がこの方面でも発揮されればとワクワク無責任に期待している隣人もいる。

定例会は3、6、9、12月です。くわしくは議会事務局へ行ってみませんか

議会傍聴

手続きはかんたん。だれでも傍聴できます。

編集のなごり

▼サッカーW杯ドイツ大会は、想定外の予選リーグ敗退で、三月のWBCに続く夢は、早々に萎んでしまった。追い討ちをかけるように「世界のナカタ」が引退とのこと。寂しい限りである。▼今年もフィールドホッケーでユース代表としてオーストラリアでの大会に臨む置農高ホッケー部長岡君、頑張れ！▼夕張メロンの産地である夕張市が財政破綻した。三位一体の改革により各自治体が財源確保に苦労している時である。負債総額なお不明とは何事ぞ。改めて行政・議会の役割が問われよう。▼山崎助役が就任した。産業振興、所得向上へむけ町民の期待に著実に取り組んでほしい。

- (建)
- 委員長 黒澤 巖
 - 副委員長 高橋 照夫
 - 委員 横山 明博
 - 〃 高貴徳右門
 - 〃 佐藤 興市
 - 〃 高橋 建一